

平成29年度 猪名川町・中学校 学習到達度調査の結果について

■ 調査目的

猪名川町内の小学校児童の学習状況を調査し、学習指導要領に定められた学習内容の定着状況を把握するとともに、今後の学力向上および指導の改善に資する。

■ 調査内容

調査目的に基づき、学習指導要領に定める内容について、基礎・基本および活用の力を測る問題で構成した。

■ 調査対象

猪名川町立中学校2年生の生徒
調査対象教科は、国語・数学・英語

■ 調査日

平成29年4月18日（火）

■ 調査結果

【中学校の調査結果】

		猪名川町全体 正答率 (%)	全国平均 正答率 (%)	目標値 (%)	全国平均 との差	受験者数
中学校 2年生	国語	74.1	70.4	67.2	3.7	349
	数学	64.3	58.4	58.0	5.8	349
	英語B	65.4	59.4	59.1	6.0	349

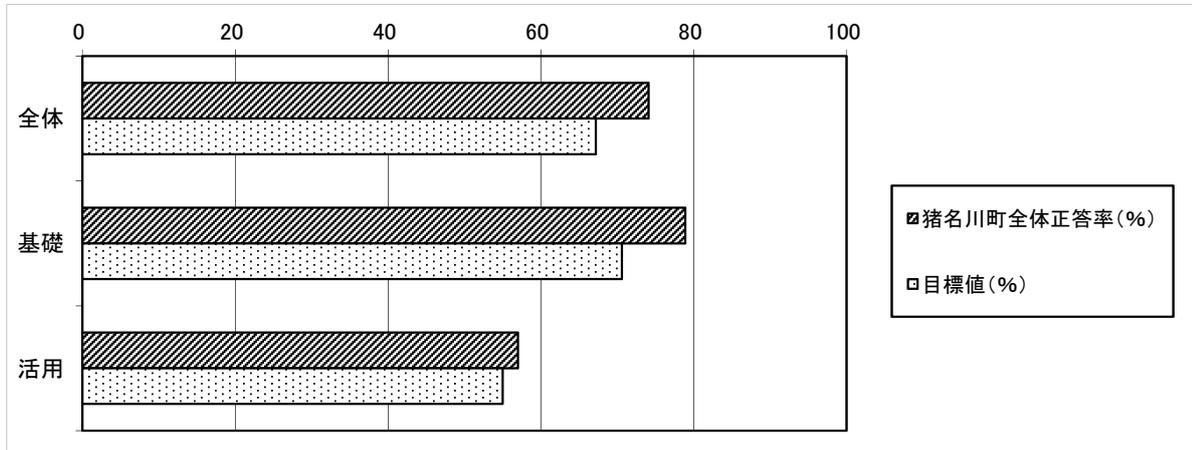
※「目標値とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した生徒の割合。出題の形式や解答の形式により、難易度を算出する。

町全体の正答率は、国語が6.9ポイント、数学が6.3ポイント、英語が6.3ポイント目標値を上回り良好な結果である。

■中学校2年生 国語

(1) 基礎・活用正答率

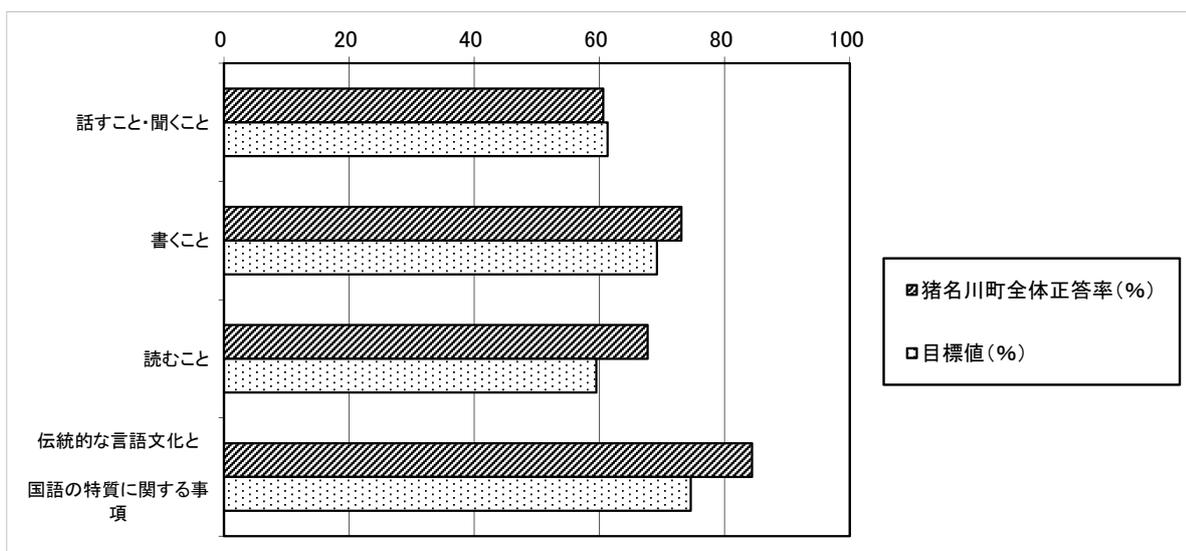
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率 (%)	74.1	78.9	57.0
目標値 (%)	67.2	70.6	55.0
目標値との差	6.9	8.3	2.0



基礎・活用別に見ると、基礎問題は78.9%と目標値を8.3%上回っている。昨年度に引き続き活用問題については、57.0%と目標値を2.0%上回っており良好な状態である。

(2) 領域別正答率

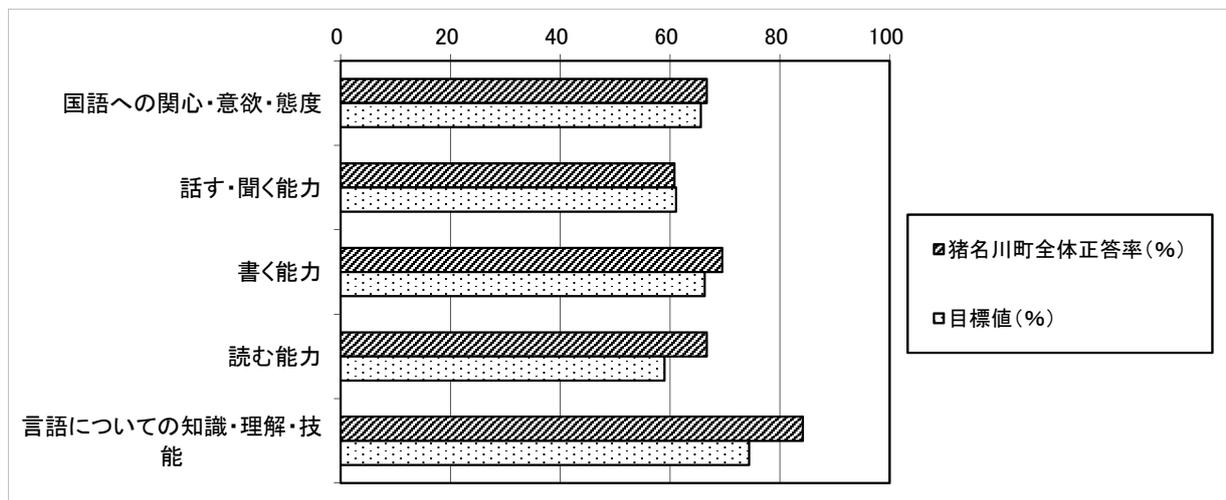
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
猪名川町全体正答率 (%)	60.6	73.1	67.7	84.4
目標値 (%)	61.3	69.2	59.5	74.6
目標値との差	▲ 0.7	3.9	8.2	9.8



領域別に見ると、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は目標値を上回り良好である。「話すこと・聞くこと」は昨年度目標値を上回っていたが、今年度は若干下回っている。

(3) 観点別正答率

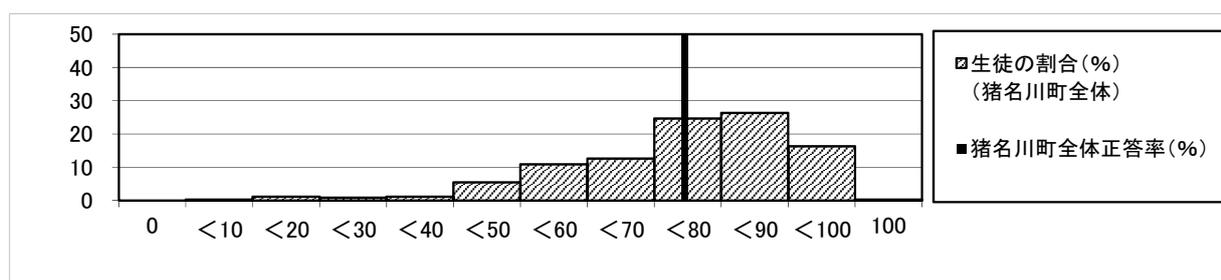
	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
猪名川町全体正答率 (%)	66.7	60.8	69.5	66.7	84.2
目標値 (%)	65.6	61.1	66.3	59.0	74.4
目標値との差	1.1	▲ 0.3	3.2	7.7	9.8



観点別に見ると、「言語についての知識・理解・技能」「読む能力」「書く能力」「国語への関心・意欲・態度」は目標値を上回り良好である。「話す・聞く能力」は昨年度目標値を上回っていたが、今年度は目標値を若干下回った。

(4) 正答率度数分布

正答率 (%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
生徒の割合 (%) (猪名川町全体)	0.0	0.3	1.1	0.9	1.1	5.4	10.9	12.6	24.6	26.4	16.3	0.3



町全体で、正答率80%以上の児童が43.0%と、昨年度の46.0%を下回った。一方、正答率50%未満の児童は8.8%と、昨年度4.8%より大幅に増加している。上位層は減少し、下位層は増加と課題多い。

(5) 課題のある小問についての分析

大問1(2)

【話し合いの内容を聞き取る】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	53.3	60.0	▲ 6.7	53.6	▲ 0.3
出題のねらい	聞き手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取ることができる。				
対策	本問では、二人の発表者が、選ばなかった方法の短所を指摘することで、選んだ方法の長所を強調している。こうした話し方の工夫は、話し手にとっては自分の意見を整理するのに役立ち、聞き手にとっては内容を理解しやすくなるというよさがある。発表学習において、発表の仕方が優れていた場合には、皆の前で取り上げ、そのよさを共有することが大切である。				

大問3(4)

【文法・語句に関する知識】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	41.3	50.0	▲ 8.7	41.3	0.0
出題のねらい	故事成語について理解している。				
対策	故事成語の意味を正確に理解しているかを、日常的な文例での用法を通して見る問題である。故事成語は、一度正確に理解すれば印象に残りやすいことから、確実に身に付けさせたい。また、必ず由来となる故事があることから、その故事の意味をしっかりと捉えさせ、日常の用例に置き換えられるように指導することが大切である。				

大問5(1)

【文学作品の内容を読み取る】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	59.3	60.0	▲ 0.7	55.4	3.9
出題のねらい	場面の展開をとらえることができる。				
対策	小説や物語においては、場面の転換を考えながら読むことも基本的な読み方の一つである。作品によっては、場面によって語り手が変わっていたり、時間的に前後していたりすることもあるので注意を要する。本問では、時間と場所の移り変わりが問題になっているので、比較的分かりやすい。丁寧に読んでいけば、「リハーサル場面」「休憩時の駐車場での手直しから本番の演奏前までの場面」「本番の演奏の場面」の三つの場面に分かれることを捉えられるであろう。				

大問6(3)

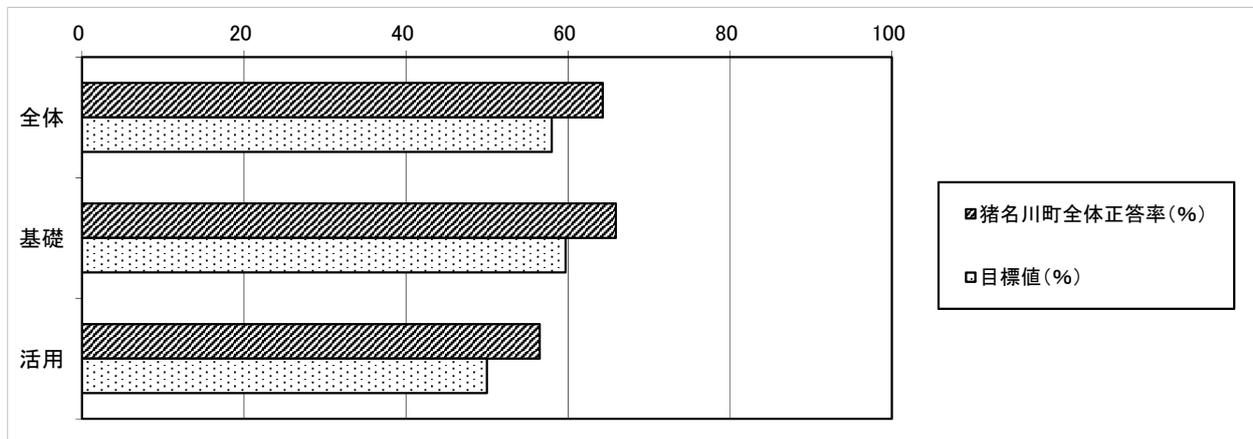
【本の紹介カードを書く】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	46.0	50.0	▲ 4.0	47.2	▲ 1.2
出題のねらい	紹介カードの特徴をとらえたうえで、その特徴を生かして新たにカードを書くことができる。				
対策	複数テキストを比較しながら考える問題である。設問の(1)(2)で【紹介カードA】【紹介カードB】の特徴について捉えているので、それを参考にすることで、【紹介カードA】ならではの特徴を把握するとよい。そうすると、【紹介カードA】では、読み手に対して問いかける表現があることに気付く。問題文に、「読む人」という言葉を使うように書かれているが、実はこうした条件が考える際のヒントにもなっていることを理解させたい。				

■中学校2年生 数学

(1) 基礎・活用正答率

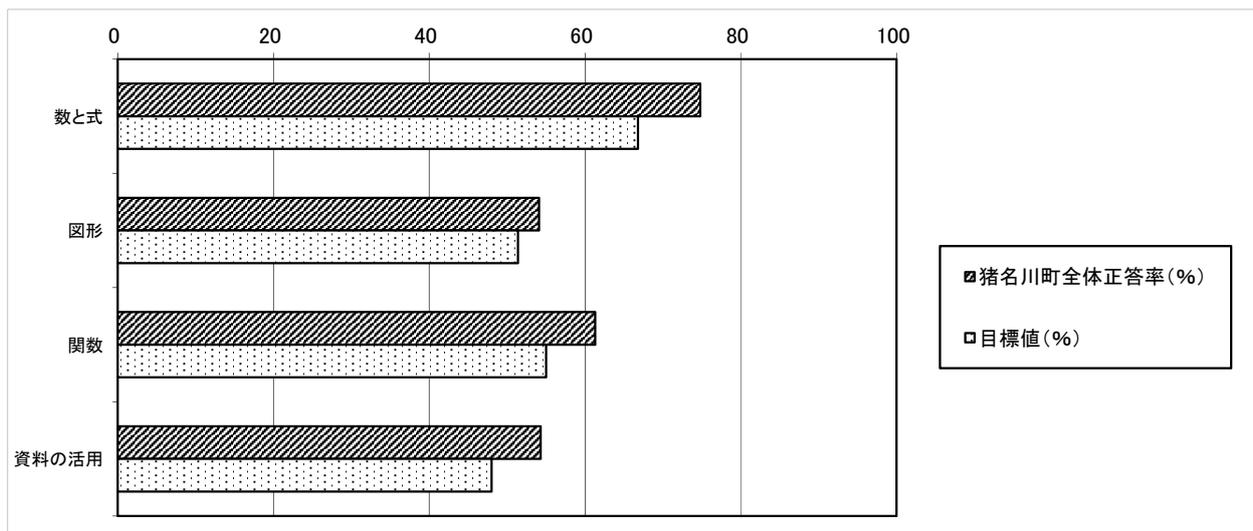
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率 (%)	64.3	65.9	56.5
目標値 (%)	58.0	59.7	50.0
目標値との差	6.3	6.2	6.5



基礎・活用ともに目標値を上回っており、良好な状態にある。

(2) 領域別正答率

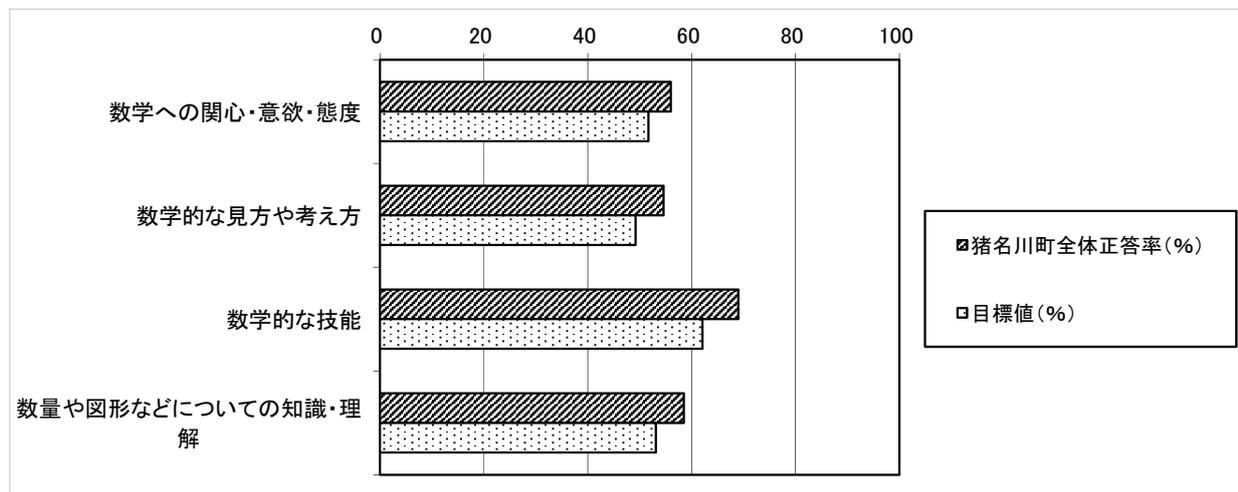
	数と式	図形	関数	資料の活用
猪名川町全体正答率 (%)	74.8	54.1	61.3	54.3
目標値 (%)	66.8	51.4	55.0	48.0
目標値との差	8.0	2.7	6.3	6.3



領域別に見ると全ての領域で目標値を上回っていて、良好である。昨年目標値を下回っていた「図形」も改善された。

(3) 観点別正答率

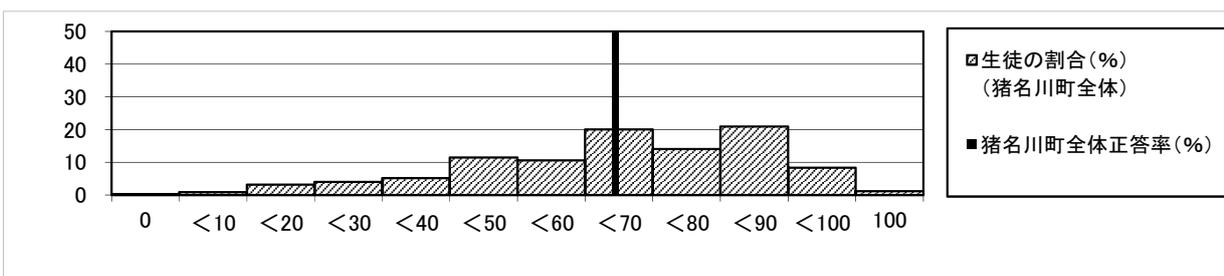
	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解
猪名川町全体正答率 (%)	56.0	54.6	69.0	58.5
目標値 (%)	51.7	49.2	62.1	53.1
目標値との差	4.3	5.4	6.9	5.4



観点別に見ると、全ての観点で目標値を上回っており、良好な状態である。

(4) 正答率度数分布

正答率 (%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
生徒の割合 (%) (猪名川町全体)	0.3	0.9	3.2	4.0	5.2	11.5	10.6	20.1	14.0	20.9	8.3	1.1



町全体で正答率80%以上の生徒が30.3%と昨年度の26.7%より増加し、正答率50%未満の生徒は25.1%と昨年度22.7%引き続き増加傾向にある。上位層の増加と下位層の増加による学力差が進んでいる。

(5) 課題のある小問についての分析

大問6

【1次方程式】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	30.7	30.0	0.7	27.7	3.0
出題のねらい	与えられた文章題を、1元1次方程式を解いて解決し、兄が弟に追いつく時間を求めることができる。				
対策	誤答の主な原因としては、問題文の中の数量の関係を正しく読み取ることができないこと、読み取った関係を方程式に表すことに習熟していないことなどが考えられる。兄が弟に追いつくということから、何と何が等しいのか、兄が弟に追いつくまでの時間をx秒とおくと、弟は何秒間多く走っていることになるのかなどを考えさせる。問題文の中の数量に印を付け、求めるものは何か、数量と数量の間の関係はどうなっているのかなどを一つ一つ確認しながら、方程式をつくらせることが大切である。				

大問9(2)

【比例・反比例】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	59.3	60.0	▲ 0.7	53.9	5.4
出題のねらい	反比例の関係を表す表から、反比例の式を表すことができる。				
対策	誤答の主な原因としては、反比例の関係又は比例定数の意味を理解していないことなどが考えられる。選択肢①と③は $y=ax$ の形であるから比例の関係を表していることを確認する。次に表の中の計算しやすい値、例えば $x=2$ のとき $y=4$ であるから、 $x=2$ を選択肢②と④の式に代入して、 y の値が4になるかどうかを調べればよいことを指導する。				

大問15(3)

【空間図形】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	36.4	40.0	▲ 3.6	40.0	▲ 3.6
出題のねらい	同じ底面で高さも等しい柱体と錐体の体積の関係について、正しく理解している。				
対策	四角柱と四角錐の体積の求め方について、復習させる必要がある。底面積と高さがともに等しい柱体と錐体については、錐体の体積は柱体の体積の $1/3$ 倍となることを押さえさせる。このことから、本問の四角柱の体積は、四角錐の体積の3倍になることを確認させたい。				

大問18(2)

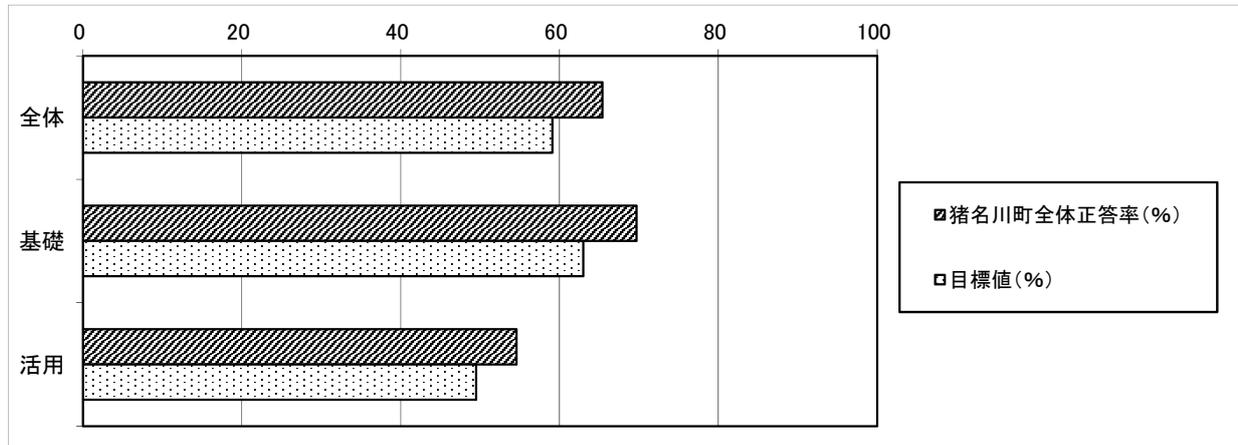
【資料の散らばりと代表値】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	30.9	30.0	0.9	23.7	7.2
出題のねらい	ヒストグラムの特徴を読み取り、説明すべきことがらについて数学的に説明することができる。				
対策	平均値や中央値の意味や、ヒストグラムから分かることは何かを確認させる必要がある。本問では、中央値が含まれる階級をヒストグラムから読み取れば、説明が正しいかどうかを判断することができる。普段の授業において、なぜそう判断したのかという理由も一緒に答えさせるように指導することが大切である。				

■中学校2年生 英語B

(1) 基礎・活用正答率

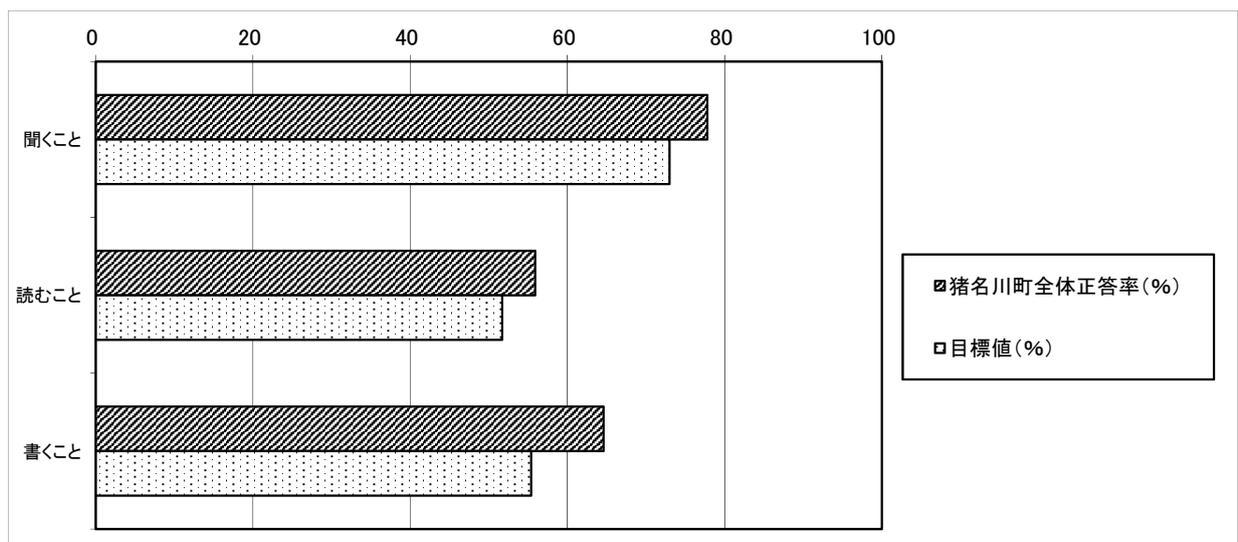
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率 (%)	65.4	69.7	54.6
目標値 (%)	59.1	63.0	49.5
目標値との差	6.3	6.7	5.1



基礎・活用ともに目標値を上回っており、良好な状態である。

(2) 領域別正答率

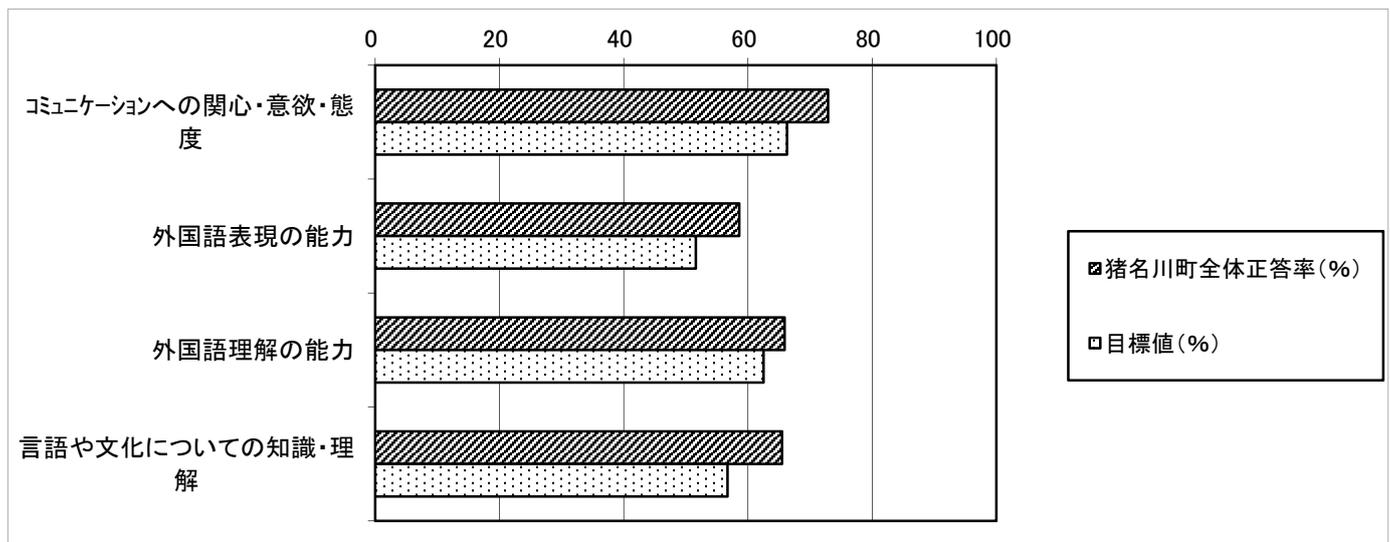
	聞くこと	読むこと	書くこと
猪名川町全体正答率 (%)	77.8	55.9	64.6
目標値 (%)	73.0	51.7	55.4
目標値との差	4.8	4.2	9.2



領域別に見ると、全ての領域で目標値を上回っており、良好である。
しかし、「長文の読み取り」と「場面に応じて書く英作文」の問題に課題がある。

(3) 観点別正答率

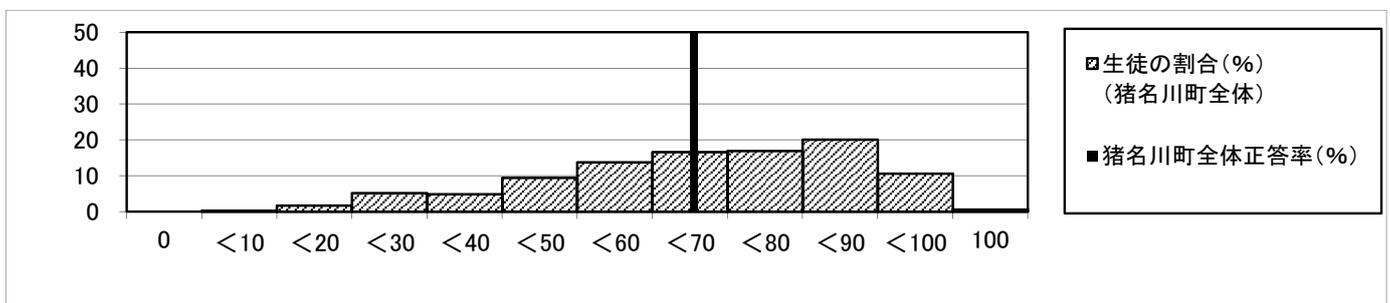
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
猪名川町全体正答率 (%)	72.9	58.6	65.9	65.5
目標値 (%)	66.3	51.6	62.5	56.7
目標値との差	6.6	7.0	3.4	8.8



観点別に見ると、全ての観点で目標値を上回っており、良好である。「言語や文化についての知識・理解」は昨年目標値を下回っていたが改善された。

(4) 正答率度数分布

正答率 (%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
生徒の割合 (%) (猪名川町全体)	0.0	0.3	1.7	5.2	4.9	9.5	13.8	16.6	16.9	20.1	10.6	0.6



町全体で正答率80%以上の生徒が31.3%と昨年度の33.4%より若干減少している。一方、正答率が50%未満の生徒は21.6%と昨年度24.2%より若干減少している。下位層が減少しているが、上位層が減少し課題である。

(5) 課題のある小問についての分析

大問3(1)

【リスニング（内容理解）】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	74.8	85.0	▲ 10.2	86.1	▲ 11.3
出題のねらい	英文の要点を聞き取ることができる。(誕生日)				
対策	スクリプトの第2パラグラフに出てくる“my birthday is June 8”という部分を聞き取ることができれば、正答できる問題である。対策としては、日頃このようなリスニング問題を行う際に、聞きっぱなしにするのではなく、スクリプトを見ながら自分が聞けなかった箇所の意味を確認し、音読するなどのフォローをすることが大切である。				

大問5(2)③

【語彙の知識・理解】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	56.2	60.0	▲ 3.8	61.3	▲ 5.1
出題のねらい	単語を正しく書くことができる。(楽しむ)				
対策	昨今コミュニケーション能力の育成を重視する傾向があり、英語を書く活動の指導に割く時間が少なくなっている。そのため、単語を書くことを苦手とする生徒が多いのは事実である。授業においては、単語の小テストなどを定期的に行い、書くことに対して抵抗感をもたせないようにする指導が必要である。なお、単語テストでは、復習として過去に学習したものを繰り返し出題するなど、反復学習させることが大切である。				

大問7(4)

【長文の読み取り】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	10.7	30.0	▲ 19.3	12.5	▲ 1.8
出題のねらい	読み取った英文の内容をふまえて、日記を書くことができる。				
対策	本問では、“It’s ~ for us.”のItが何を指しているかを捉えた上で、ダイキが書いた英文の中から“It’s ~ for us.”と同じ内容を表す文を探す必要がある。その際、英文の最終行にも“for us”という語句があることに気付けるとよい。このような問題に対する指導として、普段扱っている教科書の内容においても、言い換えられている箇所や、同じことを繰り返している箇所を生徒に見つけ出させるような設問を課すなどの工夫が必要である。				

大問9(1)

【場面に応じて書く英作文】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	26.1	40.0	▲ 13.9	31.8	▲ 5.7
出題のねらい	英語で質問する文を書くことができる。(whereを使って場所をたずねる)				
対策	“It’s on the desk.”から想像して、whereという疑問詞を使うこと、疑問詞whereの後ろは疑問文の形となることを文法的に把握していることなどが重要である。また、対話文では、対話全体の流れをつかむことが大切である。授業においては、オリジナルのスキットを作らせることで対話の流れを考えさせたり、教科書にある対話の一部を空欄にして、想像させたりするとよい。				